



大成中だより

誠実、克己、創造、自他尊重

平成29年1月25日
尼崎市立大成中学校
学校だより(第8号)

Tel 06-6428-0029

Fax 06-6428-0031

<http://www.ama-net.ed.jp/school/J09/index.html>

本年もよろしくお祈りします

今年最初の「大成中だより」です。皆様にとって今年1年が健康で飛躍の年となりますよう心よりお祈りいたします。また、大成中学校がますますパワーアップするよう、今年もチャレンジしていきますのでご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3年生にとっては、中学校生活最後の学期となります。そして、進路に向けて本格的にスタートします。社会の厳しさを感じる初めての試練だと思います。大きな壁に立ち向かうには勇気が必要です。また、それなりの努力をしないと、勇気を持って立ち向かうことができません。人生の中で大きな目標に向かって、死にもものぐるいで勉強する時期は限られています。その時頑張った経験や学んだ知識が将来、自分の財産になります。苦しいのは自分だけではありません。自分と向き合うこと、我慢することが必要です。そこから逃げ出しては、何事にも立ち向かえません。また、合格することだけが目標ではありません。そこからスタートする自分の将来につながる第一歩とならなければいけません。過去を変えることはできませんが、将来は変えられます。強みを伸ばし、弱みを少しでも変えていくことが大切です。子どもたちのすばらしい春をイメージして、前向き思考での頑張りを引き出すことが大切だと思います。



新生徒会のスタート

1月10日(火)、始業式後に生徒会の認証式を行いました。これから本格的に新執行部の活動がスタートします。先日も放課後、活動方針を決めるため、執行部員全員が集まり討議していました。このように生徒の代表が全校生徒や学校のために、色々と考えて、動いてくれています。全員で支え、協力して、『実行する』生徒会であってほしいと期待しています。そして、旧役員の皆さん、今年の1年間よく頑張りました。ご苦労さまでした。

社会力育成事業の発表に参加して

1月10日(火)、教育総合センターで行われた社会力育成事業発表会に本校の生徒会執行部の3名が参加しました。市内17中学校の発表者が一同に集まり、発表では、それぞれが自校の取り組みを聴いている人にわかりやすく説明するため、パソコンなどを使用するなど、工夫をしていました。本校の3人は全校生徒が取り組んでいる「地域清掃活動」と空き缶回収で得た収益金をタイの子ども達に贈る活動(ダルニー奨学金)についてパソコンを使って、発表しました。3人にとって、発表に向けての準備は大変だったと思いますが、その取り組みは彼らを一回り大きく成長させてくれたように感じました。



インフルエンザに注意

風邪、インフルエンザがはやっています。1月19日(木)には、1学年で欠席者が199人中、体調不良による欠席者が54人(インフルエンザによる欠席は24人)になったため、1月22日(日)まで学年閉鎖としました。特にこの時期は油断すると、寒暖の大きな差などにより、すぐに体調を崩してしまいます。本校では1月27日(金)には、1学年・2学年ともに5教科のテストを予定しています。子どもたちはその準備も大変だとは思いますが、規則正しい生活を崩さぬようご指導ください。

クラブ表彰など

木管8重奏

金管5重奏

吹奏楽アンサンブルコンテスト東阪神地区大会(いずれも金賞)

富高百々珠、新居春菜、大塚桃佳、前田夏緒莉、大道愛友、上原彩音、芳野里桜、廣瀬翔音、

松田莉歩、石井明日花、奥村友梨、戸山玉稀、宮本夏鈴

* 木管8重奏は県大会に出場



防災訓練を終えて

1月17日(火)は尼崎市の各学校が一斉に、阪神淡路大震災を教訓として、「地震津波対策」の避難訓練を行う日でした。特に、本年度、本校は小田地区の防災訓練の会場校として地域の方々、消防団、保育園児に参加していただき、「避難訓練」を行いました。当日は5・6校時に、まず、子どもたちには「阪神淡路大震災」だけでなく、「東日本大震災」「熊本地震」にもふれ、みんなで犠牲者に黙祷をささげました。その後、地震が起きた際の身の守り方を学習し、安全なグラウンドに移動しました。津波の発生にも備え、みんなで校舎3階まで避難しました。

平成7年1月17日、午前5時46分、わずか20数秒の大地の動きが、実に6300人以上もの尊い人命を奪いました。マグニチュード7.2の破壊力のすごさ、大自然の脅威をまざまざと私たちに示しました。在校生は、阪神淡路大震災後に生まれた子どもたちです。震災を体験しておらず、知識として知っているだけです。ふだん何気なく考えている「命」ですが、人の死について、改めて深く考えなければなりません。また、阪神淡路大震災は、人の死だけではなく、人の心の大切さも私たちに教えてくれました。困っていたら、助け合えるのも、人です。「防災」を常に意識し、その備えをするとともに、今一度人の心の大切さを噛みしめ、そして、まわりに「あたたかい自分」を示していくことも大切です。

最後に、この日のために準備をしてくださいました関係者の方々、ご指導・ご協力をいただきました消防署・消防団の皆様には感謝を申し上げます。



面接練習を行っています(生徒の皆さんへ)

1月13日(金)から、高校を受験する3年生を対象に「面接練習」を始めています。自分を見つめ直す良い機会にしてください。これまで約50人の練習を終えましたが、さすがは3年生。どの子も服装を整え、非常にまじめな態度で取り組んでいます。今後2月の月上旬まで練習は続きますが、がんばってください。

面接のコツは以下の通りです。

- ①初対面の方は「外見」で判断される。
 - ②何事も、礼に始まり、礼に終わる。
 - ③緊張してもよい。いや、緊張しなければならない。
 - ④強がったり、いいことを言おうとしてはいけない。
- などですが、最も大切なことは「この高校を受けたい!」という受験者の誠意と熱意です。

生徒アンケートより

本年度も本校の生徒と保護者を対象に「学校の授業」、「学校生活」、「家庭生活」についてアンケートを実施いたしました。次にその結果と課題についてお知らせいたします。

- 課題: ①約20%の生徒が先生とあまり相談する機会がない。(昨年は約40%)
- ②夜11時を過ぎても、寝ていない生徒が約50%いる。(昨年は約30%)
 - ③平日、テレビを2時間以上見ている生徒が約50%いる。(昨年も約50%)
 - ④家庭学習を1時間以上している生徒が約30%である。(昨年も約30%)
 - ⑤健康管理に心がけている生徒が約25%である。(昨年も約25%)

子どもが成長していく上で、身につけなければならないものとしては「知識」、「道徳心」、「健康な体」だと言われています。上記5点の課題改善のため、学校も全力で取りくみますので、ご家庭でも子どもたちが規則正しい生活ができますよう、ご指導をお願いいたします。

